

フィールドサイン を読み解く



所要時間	1～2時間
対象学年	小学生～中学生
活動時期	2月下旬から3月
関連事項	草花あそびと植物分類

～概要～

冬になり雪におおわれると、雪の上に動物の足跡や食痕、フンなどが残されます。また、昆虫のマユやミノムシなどが見つかります。これらのフィールドサインから生き物の越冬の様子を見ていきます。冬季の生物の様子を観察することによって、生物は種に固有の多様なライフサイクルをもっていることへの理解を深めることができます。

1 活動のわらい

- ・フィールドサインを探しながら、生き物の越冬の様子を観察する。
- ・寒さ厳しい雪の中で越冬する生き物を観察し、その巧みな適応力や自然の不思議さを感じ取ることができる。

2 活動場所

- ・西条城跡地から川上地区周辺や水田の上(理科教育センターから歩いて15分)や理科教育センター周辺でも、3月になって湿地や草原の雪が部分的に融けてくる頃になると、キツネやタヌキなどの足跡の観察ができる。

3 準備品

- ・団体・個人で用意するもの⇒観察ノート、筆記用具
- ・理科センターにあるもの：かんじき又はスノーシュー、巻き尺、双眼鏡、図鑑

4 活動の手順

活 動 内 容	
はじめ	<p>①安全に活動するための注意事項や観察の仕方についての説明を聞く。 雪の中の観察は思わぬ危険があることを、具体的によく注意しておく。</p> <p>②班ごとに役割分担をして準備をする。かんじきやスノーシューのはき方を聞く。途中で脱げてしまわないように、しっかりと縛ったりバンドをしたりさせて、確認する。</p>
活動	<p>①動物のこん跡や樹木に付いている繭や蛹、卵などを探す。 ・安全に注意して動物の足跡や糞。食痕などを探して観察する。 歩幅や足跡の形を測ったり、図に描いたりして詳しく観察させる。 ・まゆや虫の巣、鳥の巣、冬芽や木の実なども探して観察する。 ※降雪前に沢や池、川がどこにあるか調べて安全を確認しておく。</p>
まとめ	<p>① ふりかえりの活動 次のような言葉かけをして活動を振り返る。 ・地域の自然を観察してどうでしたか? ・動物の足跡を追ってどんなことに気付いたり考えたりしましたか?</p> <p>② 班ごとにまとめて、発表し合う。</p> <p>③ 後かたづけ ・使用した物品をケースに入れ整理して、数を確認して返す。</p>

【注意】クマやイノシシの痕跡はないか事前に下調べを行ったり、地域の人から情報を入手したりして安全を確認して実施する。